

NY マーケットレポート (2016年12月13日)

NY 市場では、米 FOMC の結果発表を控えたポジション調整や、序盤に発表された米輸入物価指数が 3 ヶ月ぶりのマイナスとなったことも影響し、序盤のドルは軟調な動きとなった。ただ、FOMC の結果発表やイエレン FRB 議長の発言内容、また当局者の金利予測を示すドットチャートを見極めたいとの思惑もあり、限定的な動きとなった。その中で、米債券利回りの上昇や、堅調な株価動向などもあり、ドル円・クロス円は底固い動きが続いた。そして、トルコ中銀が必要に応じて外為市場で直接介入する可能性があるとの声明を出したことを受けて、トルコリラがドルや円に対して一時上昇する動きとなり、ユーロなども堅調な動きとなる場面もあった。

2016年12月13日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	115.23	115.41	114.75
EUR/JPY	122.69	122.75	122.12
GBP/JPY	146.13	146.23	145.52
AUD/JPY	86.31	86.43	86.05
EUR/USD	1.0643	1.0651	1.0628

LONDON	高値	安値
USD/JPY	115.48	115.23
EUR/JPY	122.72	122.28
GBP/JPY	146.70	146.06
AUD/JPY	86.43	86.19
EUR/USD	1.0644	1.0604

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	115.16	115.36	114.97
EUR/JPY	122.31	122.79	122.16
GBP/JPY	145.79	146.72	145.70
AUD/JPY	86.36	86.59	86.31
NZD/JPY	82.93	83.24	82.87
EUR/USD	1.0622	1.0668	1.0606
AUD/USD	0.7500	0.7524	0.7488

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19911.21	+114.78
S&P500	2271.72	+14.76
NASDAQ	5463.83	+51.29
日経225 (CME)	19275	+210
トロント総合	15385.27	+97.57
ボルサ指数	46870.24	-43.23
ボベスパ指数	59280.57	+101.95

12/14 経済指標スケジュール

08:30	【オーストラリア】12月ウエストバック消費者信頼感指数
08:50	【日本】4Q日銀短観
09:30	【オーストラリア】11月新車販売台数
13:00	【日本】11月首都圏新規マンション発売
13:30	【日本】10月鉱工業生産
13:30	【日本】10月稼働率指数
16:45	【フランス】11月消費者物価指数
17:00	【南アフリカ】11月消費者物価指数
17:15	【スイス】11月生産者輸入価格
18:30	【英国】11月失業率
18:30	【英国】11月失業者数推移
18:30	【英国】10月ILO失業率
19:00	【スイス】12月ZEW景況感調査
19:00	【欧州】10月鉱工業生産
20:00	【南ア】10月実質小売売上高
21:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
22:00	【ポーランド】10月経常収支
22:00	【ポーランド】10月貿易収支
22:30	【カナダ】11月住宅価格指数
22:30	【米国】11月小売売上高
22:30	【米国】11月生産者物価指数
23:15	【米国】11月鉱工業生産
23:15	【米国】11月設備稼働率
00:00	【米国】10月企業在庫
04:00	【米国】FOMC政策金利

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1159.00	-6.80
NY 原油	52.98	+0.15
CMEコーン	361.00	+0.50
CBOT 大豆	1028.00	-3.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.162%	1.141%
3年債	1.460%	1.405%
5年債	1.904%	1.889%
7年債	2.249%	2.249%
10年債	2.471%	2.473%
30年債	3.133%	3.156%

ドイツ10年債	0.360%	0.399%
英国 10年債	1.441%	1.467%

12/14 主要会議・講演・その他予定

- ・英MPC (英中銀金融政策委員会 ~16日)
- ・FOMC政策発表
- ・イエレンFRB議長 定例記者会見

NY 市場レポート

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月米 NFIB 中小企業楽観指数 98.4 (予想 96.7・前回 94.9)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀NFIB 中小企業楽観指数▶

11月・10月・9月・8月・7月・6月

中小企業楽観指数・98.4・94.9・94.1・94.4・94.6・94.5

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月米輸入物価指数 (前月比) -0.3% (予想 -0.4%・前回 0.4%)

前回発表の 0.5%から 0.4%に修正

11 月米輸入物価指数 (前年比) -0.1% (予想 0.0%・前回 -0.3%)

前回発表の-0.2%から-0.3%に修正



出所 : Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《米輸出入物価》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
全輸入	-0.3	0.4	0.1	-0.2	0.1	0.7
石油	-4.7	7.3	0.6	-4.1	-3.1	11.4
除く石油	0.0	-0.1	0.0	0.1	0.5	-0.3
食品・飲料等	1.5	-0.7	0.4	1.4	3.1	-0.6
資本財	-0.2	-0.2	0.1	0.0	-0.1	-0.2
自動車・部品	-0.1	0.3	0.1	-0.1	-0.2	0.0
消費財	-0.1	-0.1	0.0	-0.2	-0.1	-0.2

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
全輸出	-0.1	0.2	0.3	-0.8	0.2	0.8
農業	0.6	0.5	-1.1	-3.5	-0.3	2.5
非農業	-0.1	0.2	0.5	0.6	0.3	0.5
食品・飲料等	0.7	0.4	-0.8	-3.7	-0.5	2.6
資本財	0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.2	0.0
自動車・部品	0.0	0.2	0.1	-0.5	0.0	0.1
消費財	-0.2	-0.5	0.2	-0.2	0.5	-0.4

11月の米輸入物価指数は、前月比-0.3%となり、3ヵ月ぶりのマイナスとなった。前年同月比では-0.1%。原油や石油製品が前月に大幅上昇した反動で下落となり、輸入物価全体を押し下げる結果となった。

①石油・石油製品は、前月比-4.7%、前年同月比では2.4%。石油以外では、前月比で横ばい、前年同月比では-0.2%となった。品目別では、原油が-6.8%、食品は+1.5%、自動車・同部品が-0.4%。

②輸入元別では、中南米からの輸入価格は-0.1%、カナダが-0.8%、EUが-0.1%、中国は-0.2%、日本は+0.2%となった。特に、日本からの輸入価格は、前年同月比で+1.3%と、2012年3月以来の上昇幅となった。

③輸出物価は、前月比-0.1%、前年同月比は-0.3%となった。農産物が+0.6%、前年同月比では-1.2%。農産物以外の品目は、前月比-0.1%、前年同月比では-0.3%。自動車・同部品は前月比では横ばいで、前年同月比では0.6%の下落だった。

23 : 45

トルコ中銀～必要に応じて外為市場で直接介入する可能性がある。



出所 : Net Dania



出所 : Bloomberg

《欧州のポイント》

イタリアのジェンティローニ新首相は、議会での初演説で「銀行の安定と市民の預金を保証するために政府は介入する用意があることを明確にしたい」と述べ、問題を抱えた国内の銀行セクターに政府が措置を講じる用意があると表明した。



出所：Bloomberg

3 : 00

《米財務省 30 年債入札》

最高落札利回り・・・3.152%（前回 2.902%）

最低落札利回り・・・2.888%（前回 2.688%）

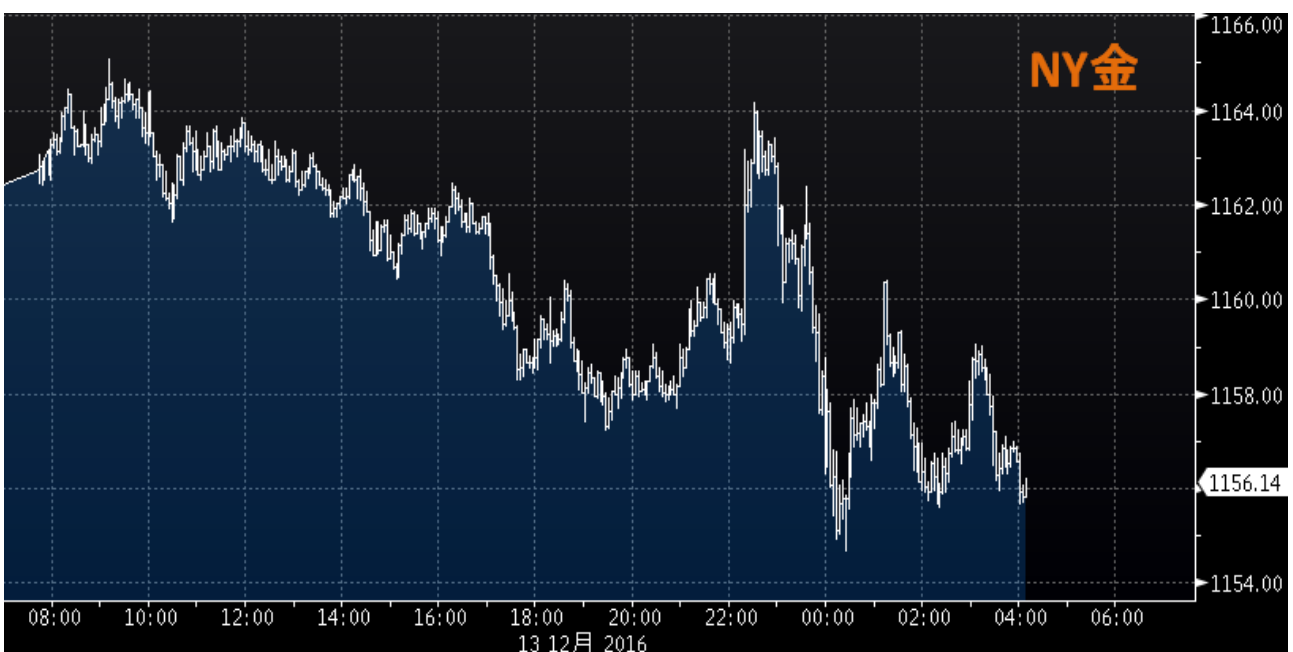
最高利回り落札比率・・・72.53%（前回 35.56%）

応札倍率・・・2.39 倍（前回 2.11 倍）

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 6.80 ドル安の 1 オンス=1159.00 ドルで取引を終了した。

NY 金は、FOMC で追加利上げが決まるとの見方から、金売りが優勢となった。ただ、FOMC 後に発表される声明や政策金利見通しの内容を見極めたいとの様子見ムードもあり、下げ幅は限定的となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.15 ドル高の 1 バレル=52.98 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、IEA が月報で今年の世界の石油需要予測を引き上げ、OPEC や OPEC 非加盟国が減産合意を順守すれば来年上半期に供給過剰が解消する可能性があるとの見通しを示したことが材料視され堅調な動きとなった。ただ、前日までの大幅上昇の反動で利益確定売りが優勢となり、一時マイナス圏まで下落する場面もあった。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

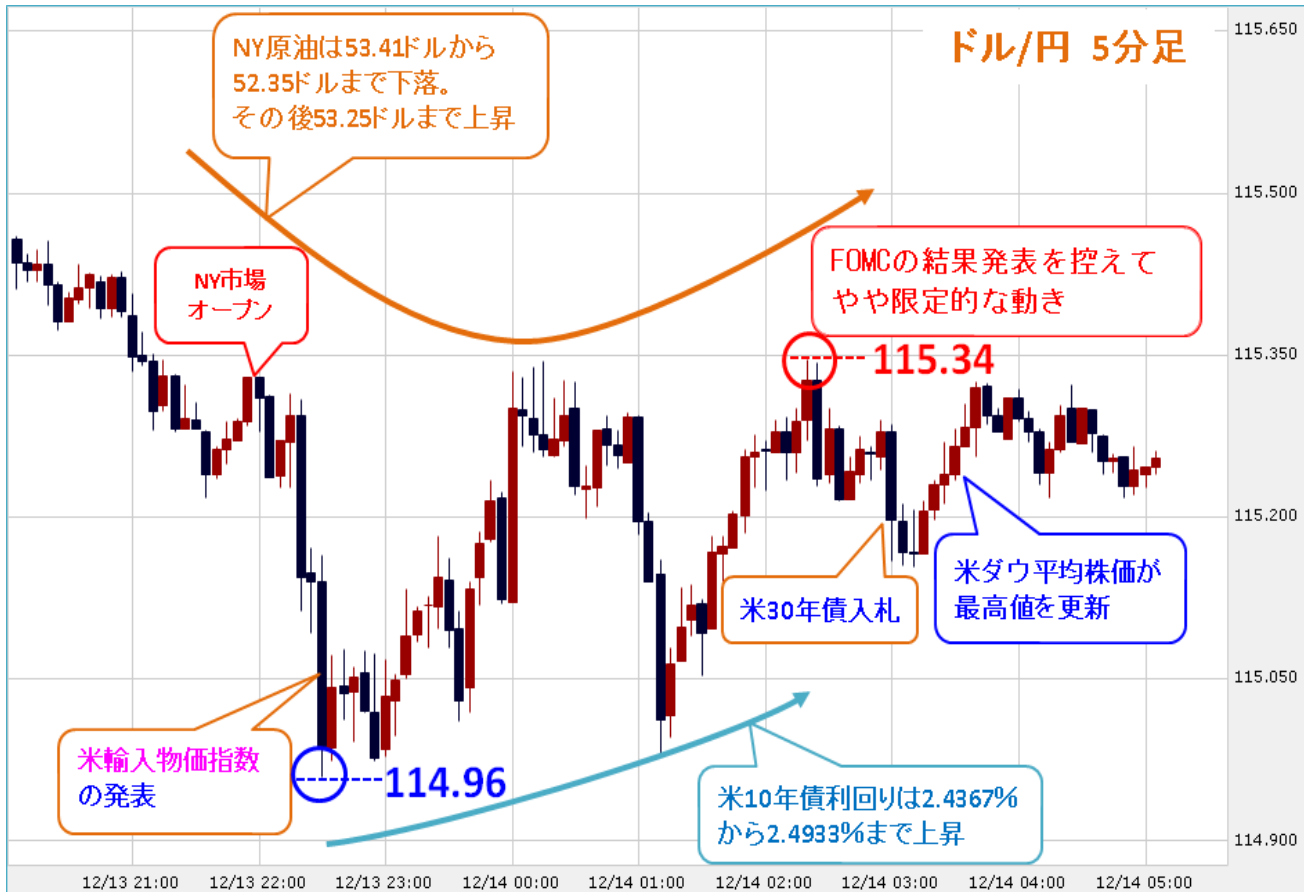
米株式市場は、トランプ次期米大統領が掲げる大規模減税や規制緩和などの経済政策に対する期待感から、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 157 ドル高まで上昇。取引時間中の最高値を更新し、終値ベースでも連日最高値を更新する動きとなった。



出所：Bloomberg

◀外国為替市場▶

外国為替市場は、FOMC を控えて様子見ムードも強まっており、限定的な動きとなった。ただ、ユーロ圏通貨は、トルコ中銀が為替介入の可能性を示唆したことから、円やドルに対して堅調な動きとなる場面もあった。ただ、終盤にかけては、全般的に限定的な動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。